

調査テーマ(目的テーマ等)、 題名	主題	調査地域	調査時期	調査方法	調査代表者名	調査代表者の所属	合同調査実施者(所属)、参加人員 数等	調査結果1	調査成果2	調査成果3	調査成果4
東北地方太平洋沖地震と津波災害が海岸林や植生へ与えた影響～リアス海岸(宮城県、岩手県)における被害状況調査、速報	海岸林や植生の被害状況	宮城県、岩手県	2011年4月末～5月上旬	被害状況調査	佐々木寧	埼玉大学大学院理工学研究科、環境科学研究センター	田中規夫(埼玉大学大学院理工学研究科、環境科学研究センター)	植生学会東日本大震災関係(植生学会ウェブサイト)			
東北地方太平洋沖地震における津波被害と海岸林の状況～仙台平野(福島県、宮城県)における海岸林被害状況調査結果～	津波による海岸林の被害状況	福島県、宮城県	2011年4月末～5月上旬	被害状況調査	佐々木寧	埼玉大学大学院理工学研究科、環境科学研究センター	田中規夫(埼玉大学大学院理工学研究科、環境科学研究センター)	植生学会東日本大震災関係(植生学会ウェブサイト)			
津波の影響による北上山地中・北部の海岸植生の状況について	海岸植生	岩手県	2011年3～11月	植生概況?	大上幹彦	岩手植物の会		植生学会誌「植生情報」第16号			
宮城・岩手の被災地の植生を見て	被災地の植生	岩手県、宮城県	2011年7月20日、22日	植生視察	原正利	千葉県立中央博物館		植生学会誌「植生情報」第16号			
植生学会 東日本大震災 南三陸地域調査報告	被災地の植生	宮城県	2011年10月28日、29日	植生概況調査	原正利	千葉県立中央博物館	浅見佳世(株式会社里と水辺研究所)、富田瑞樹(東京情報大学)	植生学会誌「植生情報」第16号			
津波被災地の復興に貢献する海岸エコトーンモニタリング	海岸エコトーンモニタリング	① 宮城県仙台市宮城野区南蒲生新浜(旧蒲生海岸公園南部) 北緯38度14分、東経140度59分 ② 測量杭を設置済みのコアエリアは16.8ha(汀線に直行する東西方向の基準線700m×南北方向の直行線240m) ③ コアエリアの南側には、サンプリングおよび瓦礫処理場との緩衝空間として機能するエリアを設置	2011年4月～10月	① 湿地・水系の分布マッピング、底生生物・水質センサス ② 鳥類センサス ③ 植物相調査、植物社会学的な植生調査と植生図作成、毎木調査(枯死木を含む)、微地形・立地マッピング ④ 昆虫相調査、ほ乳類相調査 ⑤ 衛星画像・航空測量データを用いた立地変動量把握、地形図を用いた土地利用変遷把握	平吹喜彦	東北学院大学 教養学部 地域構想学科	富田瑞樹(東京情報大学)、菅野洋(株式会社宮城環境保全研究所)、原慶太郎(東京情報大学)、郷石近勝夫(東北学院大学)、五十嵐由里(宮城昆虫地理研究会)、齋藤勝雄(宮城昆虫地理研究会)、高橋雄一(宮城昆虫地理研究会)、杉野目斉(日本鳥類標識協会)、鈴木孝男(東北大学)、齋藤綾子(株式会社宮城環境保全研究所)、宮城豊彦(東北学院大学)、大八木英夫(日本大学)など総数16名	平吹喜彦・原慶太郎・菅野洋・富田瑞樹 2011. 東日本大震災復興を支援する「多機能・海岸エコトーン」という景観生態学的視座. 景観生態学, 16: 8. 日本景観生態学会.	平吹喜彦・富田瑞樹・菅野洋・原慶太郎. 2011. 東日本大震災・大津波で被災した仙台湾砂浜海岸エコトーンとその植生状況. 薬用植物研究, 33(2): 45-57.	南蒲生・砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク ホームページ 2011	中野裕司・平吹喜彦. 2011. 震災瓦礫の土壌資源化による震災復興と海岸エコトーンの再生. 生活と環境, 56(9): 15-19. (財)日本環境衛生センター.
津波に対する沿岸生態系のレジリエンスモデルの構築 - 生物多様性に配慮した沿岸域環境保全管理に向けて	砂浜、防潮林、林床植生	青森県八戸市～宮城県気仙沼市	2011年7月～10月	植物社会学的植生調査。(2012年度は海岸ごとのフロラも行う予定)	島田直明	岩手県立大学 総合政策学部 環境政策講座	早坂大亮(国立環境研究所 特別研究員)・川西基博(鹿児島大学教育学部 准教授)	津波による海浜植生の被害・変化状況について(岩手県立大学総合政策学部ウェブサイト)			